



6月度議会一般質問・質議より

一般質問の冒頭、次のような決意を披瀝しました。

「私がつくづく痛感いたしますのは、今の 民主党の政治は、事業仕分けにみられるように、現場の弱者の声を無視し、外交問題など鳩山政権で見られたように対応の無責任さであります。まさに声なき叫びに耳を傾けない姿勢と言わざるをえません。結果的には政権は瓦解しました。これは時が創り、時が来たように思えます。鳩山前総理の発言で『国民が聞く耳を持たなくなつた』というフレーズがありましたが、とんでもない傲慢な発言で、看過できません。大衆の声ほど強いものはありません。今こそ、現場に足を運び、庶民の声に同苦する政治家でなければならぬと、絶えず自分に言い聞かせ市民の方のお声を拝聴する毎日でございます」

環境 エコタウン糸島として「ライトダウン」の啓発を!

7月7日「クールアース・デー」3年目、糸島市としてライトダウン(一斉消灯)キャンペーンに参加協力団体として登録するとともに、ライトダウンに参加施設・企業・団体に啓発し、団体及び市民に、CO2削減の意識高揚対策は打てないか。

(市長答弁) 市長マニフェストにも掲げているとおり、省エネルギー・新エネルギー導入や循環型社会システムを構築し、低炭素社会の先進実証都市「糸島」の実現を目指している。糸島市においても7月7日を「地球環境について考える日」として団体登録を行うとともに市民、事業所へ温暖化防止の啓発推進を図っていく。

クールアースデー

2008年G8洞爺湖サミットを契機に毎年7月7日をクールアース・デーとして地球環境の大切さを国民全体で再認識し家庭や職場における取り組みを推進するための日とすることを提唱された。

糸島市も「住宅省エネ改修助成事業」の取り組みを!

住宅省エネ改修助成事業は個人消費の呼び水また、地場産業活性化にも寄与するものと考える。福岡県内及び全国での取り組みも調査され、是非とも糸島市でも取り組んでいただきたい。期間が本年12月31日までの工事着手が対象となるので早急にご検討いただきたい。

(商工観光部長答弁) 全国では福岡市を含め、3県1区5市2町で実施されているが、本市では住宅エコポイント制度や介護予防事業など、既存の制度の活用を推進していく方向で対応する。

効果のある施策には迅速な対応を!

今後、効果のある施策には、果敢にまた迅速に対応するように市長は職員に指導していただきたい。

(市長答弁) 効果があると判断した施策には、迅速な対応が必要である。職員にも機会がある度に言つていいが、今後もそのように対応していく。

住宅省エネ改修助成制度

地球温暖化対策の推進及び経済の活性化を図るため、エコ住宅を新築、エコリフォームされた方に、一定のポイントを発行し、様々な商品との交換追加工事の費用に充当できる制度。



学習指導要綱の改定に伴い、年間の授業数が945コマから、980コマに35コマ増える。授業数増加に対し、現状の分析と対策は。

(教育部長答弁) 授業時間が増えれば、学力が向上するような単純ではない。①授業の工夫改善②新学習指導要領に対する全教職員の共通理解③その後の授業改善等が必要と認識している。学校に対して平成23年度の教育課程を編成する計画段階から、授業時間の弹力的活用等の説明を行う。各学校がどう特色ある教育課程を編成し実施していくかが問われる、まさに新学校時代の到来と認識している。

「2学期制」についての見解は？

私は2学期制導入先進地の古賀市に行き、2学期制導入までの経過、メリット、デメリット、今後の方向性を研修してきました。そこで教育部長に2学期制について市教育委員会としての見解をお伺いしたい。

(教育部長答弁) 糸島市立小中学校管理規則に基づき、各学校において実施できる事としており、準備は整っている。学校、地域の実態に応じた学期制を敷く事が大切な事で、学校から申し出があれば、十分協議しながら進めていく。



◀ 古賀市教育委員会を訪問

2学期制

10月までの前期と翌年3月までの後期からなり、3学期制に比べて始業、終業式、通知書の回数が減り授業日数の確保、教員の事務量の削減によって、教師がゆとりをもって児童・生徒に接することができるなど利点が多いとされている。

「ディジタル教科書」についての見解は？

発達障がい対応のディジタル教科書の下学年本の提供、及び指導教員への提供可能との事務連絡が出されているが、この対応は。また、市教育委員会の見解をお伺いしたい。

(教育部長答弁) ディジタル教科書は管内他市町村の通常学校では、まだ使用されていない。ディジタル教科書の利点、有効性を実際に確認する必要がある。まずはディジタル教科書がどのようなものか研究していく。

ディジタル教科書

パソコンで本を再生する教科書。文字を音声で読み上げていくので、それを聞きながら、文字や映像を見る事ができる。外国語等の映画の字幕をイメージしていただくと分かりやすい。特に読む能力が著しく困難を示す子ども達への教材的教科書。



教育行政に関する見解は？

教育行政に関して歴史上の哲人達は

- 「教育のための社会」への転換
- 「人間は学ぶことによって人間となる」
- 「教師こそ、最大の教育環境である」と述べている。

教育長の見解をお尋ねしたい。

(教育長答弁) 子ども達にとって、学校生活の中で、生涯にわたって尊敬できるような教師に出会えれば一生の宝である。教師の影響で、進むべき人生の道が決定する事もある。私も議員の考えに同感する。

福祉 視覚障がい者のための国庫事業の活用を！

視覚障がい者のための国庫事業を認識され、また推進すべきか。

国の音声コード機器購入補助（補助率100%）予算措置を活用されるか。

（市長答弁）事業については認識している。視覚障がい者の情報支援機器は新しいもののが出て来ているので、障がい者の利用が見込まれるものあれば、今後検討していく。

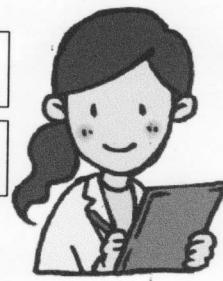
がん検診自己負担額補助に伴い、受診率の向上を！

平成21年度の検診率と22年度の受診率向上のための施策は何か。

（保健環境部長答弁）平成21年度女性特有のがん検診推進事業の検診率は下記のとおり。

子宮頸がん	23.1%	（平成20年度は 11.64%）
-------	-------	------------------

乳がん	27.6%	（平成20年度は 11.94%）
-----	-------	------------------



受診率向上のための対策として

①対象者本人にがん検診手帳・クーポン券等を送付し、本人のがん予防意識の向上をはかる。

②受診体制の充実のため、集団検診及び個別検診のどちらでも受診可能にする。

③集団検診の検診機会を増加する。

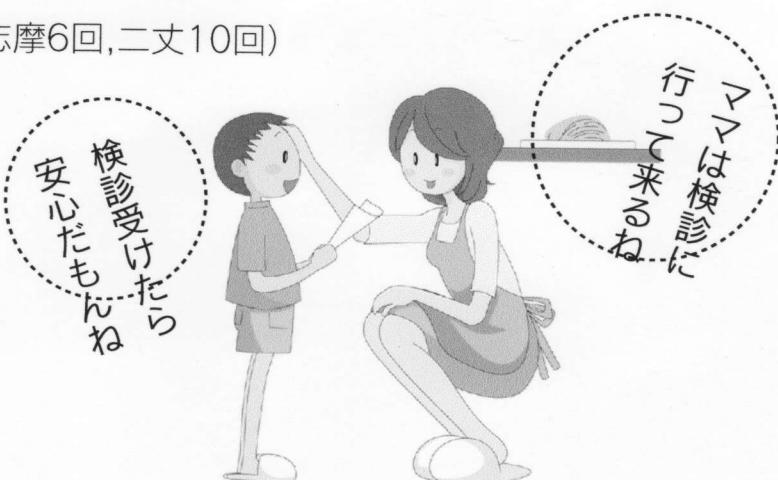
（H21年：25回→H22年：38回）（志摩6回、二丈10回）

④日曜日の集団検診を増加する。

（H21年：4日→H22年：6日）

⑤健康情報誌、市広報誌で啓発。

⑥未受診者に対して電話での勧奨。



最低でも5年間継続しないと効果がないと考えるが、継続する考えは。

（保健環境部長答弁）女性特有のがん検診推進事業の対象者は、子宮頸がん・乳がん共に5歳刻みの年齢を事業対象としているので、事業継続の必要性は認識している。

車イスの方に安全な道路整備を！

車イスが通行できない歩道があまりにも多い。今後の歩道整備は、また現状の認識は。



（建設都市部長答弁）波打ち歩道となっているのが現状である。従来の基準により設置した歩道の改良については、今後、交通量や隣接地などの現状を踏まえ、整備を検討していく。

事業推進補助金について

シルバー人材センター事業拡大推進補助金の内容と市の関わりは

(商工観光部長答弁) 今年度シルバー人材センターでは、元気な高齢者が困ってある高齢者を助けるサービスとして「シルバーに“まかせんしゃい” 困りごとサービス事業」に取り組まれるが、この事業も含めさらに、就業機会を増やすための新たな事業拡大のための補助金。市としてもシルバーの事業拡大ができるようにPR等について協力していきたい。



市観光協会情報発信事業補助金でのQRコードの掲載物は。また情報発信ツールとしてツイッターの活用は。

(商工観光部長答弁) QRコードの掲載は糸島ふるさと大使の名刺やパンフレット、観光案内板が考えられるので、可能なものからQRコードをいれていく。ツイッターは管理・運営にあたる観光協会と協議していきたい。

LED街灯に切り替え、行政区・市の負担軽減を！



JED街灯の切り替えについて

(総務部長答弁) LEDを設置し照度

の実証実験を行うとともに、今後のLED価格の動向を見ながら、LEDに切り替えていくかどうか検討したい。

◀ 伊都文化会館に設置されたLED照明

速報

JR波多江駅にエレベーター設置 オストメイト対応トイレ・車イス対応待機所も新設！



駅舎にエレベーター

▷ 福岡・糸島市 <

オストメイト対応トイレも

◀ エレベーター設置が実現
(公明新聞6月10日)

▼ 防犯灯改善が実現 (公明新聞6月11日)



防犯灯改善が実現！
神在地区市道防犯灯

